

13:30

特別栽培 収量維持に向け

チャレンジ

今年も特別栽培に挑戦中

「特別栽培」とは

「あきたecoライス」基準（農薬10成分以内）

収量の低下が心配

化学肥料（窒素成分）慣行5割減

農業科学科 作物班

佐藤 涼さん

成分が減った分、収量も減ってしまうことが心配。
栽培方法の工夫が必要か。



100年の歴史を繋ぎ 今を羽ばたけ
そして新たな未来へ

13:30

特別栽培 収量維持に向け

チャレンジ

今年も特別栽培に挑戦中

「特別栽培」とは

「あきたecoライス」基準（農薬10成

増田地区で特別栽培に取り組んだ農家は、
養分不足でどこも収量減につながっている。

JA秋田ふるさと
増田営農センター

佐藤さん

農業科学科 作物班

藤原蒼輝斗さん

特別栽培でも収量を落とさずに生産できないか
考えました。



100年の歴史を繋ぎ 今を羽ばたけ
そして新たな未来へ

13:30

特別栽培 収量維持に向け

チャレンジ

今年も特別栽培に挑戦中

(1) 土壌診断・土壌改良

◎土壌改良材の工夫

鶏糞(肥料代替率が高い資材)

→ 従来の15kg/10a 増し

農業科学科 作物班

谷口 美月さん

土壌改良材をあえて、手で散布しました。重労働でしたが、加える成分について理解を深められました。



100年の歴史を繋ぎ 今を羽ばたけ
そして新たな未来へ